






令和2年 **2**月の大阪森林便り

目次

- (1)  日本の木が香る競技場 自然と共生 環境に配慮
- (2)  奈良の「春日山原始林」試験植樹
- (3)  集成材原料が上昇 1~3月積み 欧州のストライキ響く
- (4)  丸太輸出価格 下げ基調 3年2か月ぶり安値

今月の木の話 木表と木裏を上手に使い分ける

- (1)  日本の木が香る競技場 自然と共生 環境に配慮

有明体操競技場、戸建て 100 戸分の木材

杉など、全国各地から 産地「美しさ広める好機」

*五輪とパラリンピックのために新設される競技会場のうち、最も木材が活用されているのが有明体操競技場。

・「湾岸エリアに浮かぶ木の器」がコンセプト。外壁を木目美しい杉で覆いました。

	国立競技場	有明体操競技場
延べ床面積	192,000M ²	39,000M ²
木材使用量	2000M ³	2300M ³
観客席数	6 万席（五輪）	12,000 席
整備費	1569 億円	205 億円
主な競技	開閉会式、陸上、サッカー（五輪）	体操（五輪）、ボッチャ（パラリンピック）

*国立競技場のひさしには 46 都道府県の杉と沖縄県のリュウキュウマツを使用。

*有明体操競技場の大屋根の梁には、北海道と長野県のカラマツが主に使われました。

・外装に静岡、宮崎、秋田の 3 県の杉、ベンチは三重県の杉を採用。

?外装で最も多く使われたのが、浜松市の杉「天竜材」。

高度成長期に植林 いま伐採期

*国内の木材生産量は増加傾向。

・2018年には前年比1.8%増の3020万1千M³になり、9年連続で増加。
2008年の生産量の約1.6倍。

*国内で使用される木材のうち国産材が占める割合（自給率）も2018年に36.6%となり、2011年から8年連続で上昇。

*国は自給率を2025年に50%にすることを目標に掲げています。

(2020年1月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 奈良の「春日山原始林」試験植樹

枯れ死など深刻、効果に時間

*国の特別天然記念物で世界文化遺産の一部でもある「春日山原始林」（奈良市）で、植生を保全するための試験的な植樹が初めて行われました。

・害虫が運ぶ病原菌で樹木が枯れ死する「ナ枯れ」や鹿の食害などが原因で、古来守られてきた森林の景観が壊れる可能性が指摘されているため。

・過去にこうした目的で植樹を行った記録はなく、効果が出るまでには時間がかかりそう。

*春日山原始林は春日大社の神域とみなされたことから841年以降、狩猟や伐採が行われず、原始的な環境が守られてきたとされます。

(2020年1月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 集成材原料が上昇 1~3月積み



欧州のストライキ響く

*木造住宅の柱や梁に使う集成材の原料板材（ラミナ）の対日価格が4四半期ぶりに上昇。欧州産の2020年1~3月積み価格は、2019年10~12月期より2%高。

*フィンランド大手製材会社で2019年12月中旬にストライキが発生し、供給不安に。

*1~3月積み価格は、前年同期に比べ13%安。

(2020年1月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 丸太輸出価格 下げ基調 3年2か月ぶり安値

米中摩擦長期化 中国で需要減、欧州材も流入

- * 国産丸太の輸出価格が下落し、3年2か月ぶりの安値に。
 - * 輸出の約8割を占める中国の景気減速が鮮明、梱包材向けなどの需要が鈍化。
 - * 2019年11月の平均輸出単価は直近の高値だった5月より17%安く、2016年9月以来の安値水準。
 - * 国産材の供給減少と輸入材の増加で、木材自給率は2002年に18.8%と過去最低に。
 - * 自給率は2018年に36.6%まで回復。
- (2020年1月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の木の話



木表と木裏を上手に使い分ける

- * 木材にも表と裏があります。
 - * 木表：板目材の樹芯から遠く樹皮に近い面。
色合いが濃く材質が硬く光沢があって美しいです。
 - * 木裏：樹芯に近い面。
軟らかで色合いが薄く光沢も少ないです。
 - * 木表と木裏の性質の違いを知って使い分けることが必要。
 - * 板類は乾燥すると木表側に凹状に反ってきます。
 - * 木裏は逆目を生じやすいので、特殊な用途を除き木表を仕上げ面に使用しません。
 - * 天井板などは仕上げ面のきれいな木表がよく見えるように木表を下にして張ります。
 - * 床板も同じ理由で木表を上をしています。
 - * 木裏は乾燥すると目が立ってささくれてくるので、床板や敷居などで木裏を上をしていると、とげが足に刺さったりして危険です。
- (日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)

